

ひまわり学級体育科学学習指導案

令和3年11月11日（木）
ひまわり学級16名（本時 13名）
授業者 M T 中里麻子
T1佐野真理 T2中澤純 T3新井さちえ

わくわく・どきどき・チャレンジ蔵前

目指す児童像

自分から興味をもち、友達と協力して何でもチャレンジする子

1 単元名 蔵前式ポッチャ（12時間）

2 単元の目標

知識及び技能	・ポッチャのルールや、いろいろな投げ方や作戦を知り、ジャックボールに近づくように投げることができるようにする。
思考力、判断力、表現力等	・どのように投げたらよいか考え、友達と話し合っ作戦を立てることができるようにする。
学びに向かう力、人間性等	・チームで協力しルールを守り、蔵前式ポッチャのゲームを楽しむことができるようにする。

3 単元の評価規準【特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 総則編小学部・中学部（保健体育参照）】

段階の目標	1段階	2段階	3段階	中学部1段階
知識・技能	・教師と一緒に、ボールを投げて楽しく体を動かしている。	・教師の支援を受けながら、楽しくボールを使った基本的なゲームをしている。	・ジャックボールに近づくようにボールを投げている。	・蔵前式ポッチャのルールが分かり、基本的な投げ方を身に付けゲームを行っている。
思考・判断・表現	・教師と一緒に、友達の作戦を聞いて、返事をしている。	・教師の支援を受けながら、友達の考えた作戦を聞き、自分の考えを言っている。	・作戦を考え、友達と話し合っている。	・勝つための作戦を考え友達と話し合っている。
主体的に学習に取り組む態度	・教師と一緒に、楽しみながらゲームをしようとしている。	・教師の支援を受けながら、楽しんで応援をしたりゲームをしたりしようとしている。	・アドバイスや応援をする等、楽しみながらゲームをしようとしている。	・安全に気を付けながら友達と協力し最後まで楽しんでゲームをしようとしている。

4 児童の実態

略

5 単元について

本単元は、東京2020パラリンピック競技大会で行われた「ボッチャ」という競技をアレンジした活動（蔵前式ボッチャ）を行う。集中力、投球技術、戦略性、チームワークが必要とされるボッチャを体験することで、パラリンピックに興味をもたせたい。また、障害があっても、道具を使ったり、スポーツアシスタントが参加することにより、スポーツができることを知り、工夫したり発想を変えたりすることで、様々な可能性が広がることを理解させたい。

6 研究主題に迫るための手立て

(1) 本単元において「学びに向かう力」が見られる児童の姿

- (★1) 蔵前式ボッチャのルールや投げ方を理解し、活動している姿。
- (★2) 自分の選んだ作戦を積極的に伝えようとしている姿。
- (★3) チームの合言葉などで応援し、ゲームを楽しんでいる姿。

(2) 「学びに向かう力」を向上させるための工夫

手立て① 教材と出会い、学びのイメージを拡げる工夫

- ・資料映像を見て、実際の試合の様子を観ることでジャックボールに優しくボールを投げて近付けるイメージや試合をする意欲をもつ。(「理解の問い」)

手立て② 友達と関わり合って学び合う環境の工夫

- ・作戦を立てやすくするために掲示資料を活用する。(「方略の問い」)
- ・試合を行う際には、チーム内で各自が役割をもてるようにする。

手立て③ 学びを自覚し、次の学習につなげる工夫

- ・前時の試合をチームごとに振り返り、次時のめあてを立てて試合に臨めるようにする。また、作戦ボードにめあてを掲示し確認できるようにする。(「関連の問い」)
- ・毎時間作戦ボードを写真に撮り、単元の最後の振り返りに使用する。自分のチームの作戦ボードの写真を見てチームのよいところを見つけ合い発表できるようにする。

(「振り返りの問い」)

7 指導計画 (本時 10/12) (※知思主は、児童の実態に応じて、段階が上がる児童と1段階のままの児童がいる。)

時	○主な活動内容	◎指導上の留意点 □評価 ・手立て (★)「学びに向かう力」が見られる姿
1	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">ボッチャを知ろう</div> <ul style="list-style-type: none"> ○ボッチャというスポーツの資料映像を見て、興味関心をもつ。 ○ボッチャを体験する。(ボールの基本の持ち方・投げ方の練習をする。ペットボトルの的にボールを当てるゲームをする。) 	<ul style="list-style-type: none"> ◎『ボッチャをやってみよう!』の映像資料を見せ、興味関心をもたせる。 ◎的当てゲームを行い、チームのメンバーと仲良く楽しみながら体験させる。 ◎チーム編成は、運動能力、対人関係を配慮して行う。実際に活動して、変更が必要な場合は随時行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> 知教師と一緒に、ボールを投げて楽しく体を動かしている。 主教師と一緒に、楽しみながらゲームをしようとしている。 </div> <p>・手立て① (★1、2)</p>
2	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">いろいろな投げ方で投げてみよう</div> <ul style="list-style-type: none"> ○資料映像を見て、様々な投げ方があることを知る。 ○的当てゲーム、玉入れゲーム、ボール押しゲームを行い、ボールの投げ方の練習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎『0からボッチャ vol.2 楽しもう!レクリエーションの紹介』の映像資料を見せ、様々な投げ方を知らせる。 ◎3種類のゲームを行い、チームとメンバーと仲よく楽しみながら2つの投げ方(アプローチ、プッシュ)の練習をさせる。 ◎投げ方によって、ボールの持ち方や投げる力加減が違うことが理解しやすいように、教員が実演しながら説明をする。 ◎作戦ボードで、ボールを投げる順番と結果の花丸を付ける練習をさせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> 知教師と一緒に、ボールを投げて楽しく体を動かしている。 主教師と一緒に、楽しみながらゲームをしようとしている。 </div> <p>・手立て① (★1、2)</p>

<p>3 ・ 4 ・ 5 ・ 6</p>	<p style="text-align: center;">いろいろな作戦を知りやってみよう</p> <p>○映像資料を見て、いろいろな投げ方の練習をする。 ・よせよせ作戦 ・じゃまじゃま作戦 ・ばんばん作戦 ・おせおせ作戦</p> <p>○作戦ボードの使い方 (4作戦から選ぶ) ↓ 第4時から ・ジャックボールの投げる場所 ・のせのせ作戦 (6作戦から選ぶ)</p> <p>○チームで「ナイスプレー」と励ます時の合言葉を決める。</p>	<p>◎『0からポッチャ vol.5 深めよう！スキルアップをめざして』の映像資料を見せ、7種類の投球技術を知らせる。</p> <p>◎4時間目以降は、児童が飽きないように少し難しいチャレンジコーナーを作る。</p> <p>◎優しくボールを投げるのが難しい児童には、手のひらを下に向けてボールを投げるように教員が手本を見せる。</p> <p>◎児童に教師のモデリングを見させ、作戦ボードの使い方が理解できるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">〈作戦名〉</p> <p>① ジャックボールの投げる場所 ② よせよせ作戦 (アプローチ) ③ じゃまじゃま作戦 (アプローチ) ④ ばんばん作戦 (ヒット) ⑤ おせおせ作戦 (プッシュ) ⑥ のせのせ作戦 (ライジング)</p> </div> <p>◎作戦カードを掲示することで、作戦を選びやすくする。 知教師と一緒に、ボールを投げて楽しく体を動かしている。 思教師と一緒に、友達の作戦を聞いて、返事をしている。 ・手立て① (★1、2)</p>
<p>7</p>	<p style="text-align: center;">蔵前式ポッチャのルールを確認しよう</p> <p>○資料映像を観て、実際の試合の様子を知る。</p> <p>○蔵前式ポッチャのルール、チームプレーの約束、役割分担を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">〈チームプレーのやくそく〉</p> <p>① あいさつ： 「よろしくおねがいます。」 「ありがとうございました。」</p> <p>② おうえん:チームの合言葉 ③ チームで協力しよう</p> </div>	<p>◎資料映像を見せ、ジャックボールに優しくボールを投げて近づけるイメージや試合をする意欲をもたせる。</p> <p>◎蔵前式ポッチャのルール、チームプレーの約束、役割分担を丁寧に教える。 思教師の支援を受けながら、友達の考えた作戦を聞き、自分の考えを言っている。 主教師の支援を受けながら、楽しんで応援をしたりゲームをしたりしようとしている。 ・手立て②③ (★1、2、3)</p> <p style="text-align: center;">〈役割分担〉</p> <p>・チームリーダー、作戦リーダー 応援リーダー・ボールあつめ係 (2人、輪番)</p>
<p>8 ・ 9 ・ 10 (本時) 11</p>	<p style="text-align: center;">作戦を立てて試合をしよう</p> <p>○第1～4回蔵前式ポッチャを行う。</p>	<p>◎チームごとのめあてを確認し、意識して取り組めるようにする。</p> <p>◎試合中に話し合いができたのか各チームの教員が見取る</p> <p>◎チーム内での役割を行えるように、各チームの担当の教員や支援員が必要に応じて言葉掛けを行う。</p> <p>◎チームごとの合言葉で応援するように言葉掛けをする。 知ポッチャのルールを理解し、いろいろな投げ方でボールを投げている。 思勝つための作戦を考え、友達と話し合っている。 ・手立て②③ (★1、2、3)</p>

12	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">振り返りをしよう</div> <p>○第5回蔵前式ポッチャを行う。</p> <p>○作戦ボードの記録写真を見てチームのよいところを見付け合う。</p>	<p>◎作戦ボードの記録写真を見て振り返りをしやすくする。</p> <p>◎試合中に話し合いができたのか各チームの教員が見取る。</p> <p>知ポッチャのルールを理解し、いろいろな投げ方でボールを投げている。</p> <p>思勝つための作戦を考え、友達と話し合っている。</p> <p>・手立て②③ (★1、2、3)</p>
----	--	---

〈教科間の関連的な指導について〉

児童の学習意欲を引き出すことをねらい、国語、学活の授業で以下のように取り組む

授業時間	授業内容
試合後毎回	「チームのめあてを決めよう」(国語) 次回の試合のときのめあてをチームごとに決める。
随時	「ルールのある遊びをしよう」(学級活動) 蔵前式ポッチャのボールでの的当てゲーム、玉入れゲームなどをルールのある遊びとして行う。
1時間	「パラリンピックの映像を見よう」(生活単元) パラリンピックの映像を学級で視聴する。

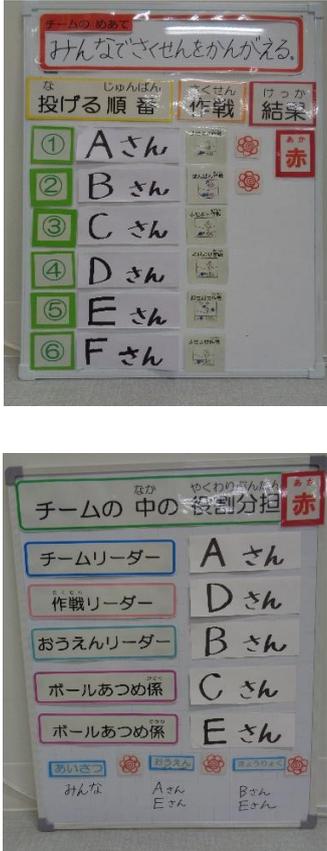
8 本時の学習 (10/12)

(1) 目標

- ・蔵前式ポッチャのルールを理解し、いろいろな投げ方でボールを投げることができるようにする。
(知識及び技能)
- ・勝つための作戦を考え、友達と話し合うことができるようにする。(思考力、判断力、表現力等)

(2) 展開

	学習活動	◎指導上の留意点 □評価 ●個別の配慮 (★)「学びに向かう力」が見られる姿
導入	1 学習の流れの確認をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin: 10px auto; width: 300px;">作戦を立てて試合をしよう。</div> 2 準備運動をする。	<p>◎掲示物を用いて、本時の学習のめあてや流れを確認する。</p> <p>◎使っている部位を意識するように一つ一つの動きのポイントをおさえて、丁寧に取り組ませる。</p> <p>●一人で準備運動ができない児童には、担当の支援員が身体的補助をする。</p>

<p>展開</p>	<p>3 チームごとに投げる練習をする。</p> <p>4 前時の試合の振り返りを聞き、チームごとのめあてを発表する。</p> <p>5 第3回蔵前式ポッチャの試合を行う。</p> 	<p>◎的をよく見て投げるように言葉掛けをする。</p> <p>練習場</p> <p>玉入れゲーム、的当てゲーム、のせのせゲーム、どう投げるゲーム</p> <p>●メインティーチャー以外の教員、支援員は必要に応じて担当児童のそばでその都度支援をする。</p> <p>◎前時の試合でがんばっていたチームの良さを伝え意欲につなげるようにする。</p> <p>◎教員は、児童の活動の様子を見取り、次の試合に生かせるように記録する。</p> <p>◎試合中、話し合いができているのか各チームの教員が見取り、児童が主体的に活動できるように言葉掛け等の支援をする。</p> <p>●思い通りにいかずにその場から逃げ出す児童には、少しくールダウンした後に戻るよう言葉掛けをし、支援員が見守る。</p> <p>◎作戦が選べない児童は、2つの作戦カードからどちらかを選ぶように促す。</p> <p>◎チームごとの合言葉を掲示し、応援しやすくする。</p> <p>●応援する意識が低い児童には、応援ができるように試合前に確認をしたり、随時言葉掛けをしたりする。</p> <p>◎投げるときにコート線の線から足が出ないように声掛けをする。</p> <p>知蔵前式ポッチャのルールを理解し、いろいろな投げ方でボールを投げている (観察)</p> <p>思勝つための作戦を考え、友達と話し合っている。(★1、2、3) (観察)</p>
<p>まとめ</p>	<p>6 整理運動をする。</p> <p>7 振り返りをし、次時の学習内容を知る。</p>	<p>◎使った部位をほぐす運動をゆっくりと行うように言葉掛けをする。</p> <p>●一人で準備運動ができない児童には、担当の支援員が身体的補助をする。</p> <p>◎各チームでがんばろうとすることが達成できたのかを確認する。</p> <p>◎できるだけ児童の言葉で振り返らせる。</p> <p>◎教員が児童の良かった動きや声掛け等を児童に伝える。</p> <p>◎次時のチームごとのめあては明日の国語の授業に考えることを伝える。(★3)</p>

